

一般社団法人衛星放送協会 平成25年度事業報告

平成25年4月1日～平成26年3月31日

1. 概要

(1) 有料・多チャンネル放送を取り巻く環境

平成25年度の日本経済は、経済再生に向けた金融政策、財政政策、民間投資により、長引くデフレ不況から脱却し GDP は緩やかながらも拡大しました。テレビ放送業界では、昨年7月の政府の「新たな成長戦略」の中に「放送サービスの高度化」が位置付けられました。その推進体制として次世代放送推進フォーラムが組成され、当協会も今年3月に入会しました。また、「放送サービスの高度化」の一環として4K/8Kの具体的な推進策を検討する為、「4K/8Kロードマップに関するフォローアップ会合」が今年2月に設置され当協会も構成員として参加することになりました。

一方で、有料・多チャンネル放送業界では、契約数の伸びは鈍化しており新たな枠組みや大胆な施策の策定が課題となりました。また、平成26年5月31日にスカパー！プレミアムサービス(124/128度CS放送)のMPEG-2放送終了(一部チャンネルを除く)が予定されたことから、H. 264への移行を円滑に促進させました。

当協会では、有料・多チャンネル放送の契約数を拡大するために、「第3回オリジナル番組アワード」の活動を通じて多様性と専門性の高い見応えある番組の制作促進と認知向上等に向けた活動を継続しました。

一般社団法人として2年目を迎える衛星放送協会では、6つの重点目標を柱とし、多チャンネル放送の普及促進に向けて活動しました。詳しくは「2. 衛星放送協会の事業報告(1)重点目標」を参照下さい。

(2) 有料・多チャンネル放送契約数の現状

有料・多チャンネル放送の契約数は、プラットフォーム毎に傾向の違いはあるものの、全体として昨年を引き続いて微減となり、足踏み状態となりました。

(単位: 万件)

| | 平成26年3月末 | 平成25年3月末 | 増減 |
|-------------|----------|----------|-----|
| DTH(*1) | 363 | 372 | -9 |
| 124/128度 | 157 | 176 | -19 |
| 110度 | 206 | 196 | 10 |
| ケーブルテレビ(*2) | 641 | 640 | 1 |
| IPTV(*2) | 82 | 81 | 1 |
| スカパー光(*1) | 9 | 10 | -1 |
| 合計 | 1,095 | 1,103 | -8 |

*1:スカパーJSAT株式会社 公表値。110度にはBS契約を含む

*2:協会推計値

2. 衛星放送協会の事業報告

(1) 重点目標

① 有料・多チャンネル放送の普及促進に向けた活動の強化

124/128度CS: 平成26年5月31日のMPEG-2放送サービス終了(一部チャンネルを除く)に向けて、H. 264への移行拡大を目指し、スカパーJSAT(株)と協力して各種施策に取り組みました。また、プレミアムサービスの新規獲得や解約防止、プレミアムサービス全体に係る課題についても関係各社と継続的に協議を重ねました。

BS・110度CS: さらなる普及促進を目指し、スカパーJSAT(株)と協議し、連携を図りながら契約数拡大や解約防止に注力した活動を行いました。さらに、衛星の利用契約更新を控え、110度CS放送のサービス契約内容に関して、会員の意見を集約しスカパーJSAT(株)と意見交換や協議を重ねました。

ケーブルテレビ: 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟と当協会で設置した2者懇談会では、従来の課金数や業務配信の取扱に関する指針について合意に至りました。また、番組供給料金支払の円滑化にも取り組みました。有料・多チャンネル放送契約数拡大に向けた取り組みについて、意見交換を活発に行いました。

プレミア: 解約防止と情報共有に重点を置き活動を実施しました。ほかにもプレミア系各チャンネルが共同で展開できる販促企画の検討や、各チャンネルが独自に展開する普及促進施策について情報を共有しました。

※ 「スカパー！」並びに「スカパー！プレミアム」サービスの解約防止について、124/128度、110度、プレミア、BSの4委員会が、合同でスカパーJSAT(株)と対策協議を行い、調査、分析に基づいた施策の検討が進められています。

② 多チャンネル放送研究所の情報発信及び調査機能の充実

有料・多チャンネル放送業界について基礎資料を整備し、有料・多チャンネル放送契約視聴者のプロフィール分析を目的にした「多チャンネル放送実態調査2014」、「多チャンネル放送市場・事業者予測調査(第12回、第13回)」、「多チャンネル放送視聴者調査」を継続実施しました。この中で視聴者調査については平成23年以来実施してきた世代別調査に区切りを付け、2年間にわたる視聴者の動画配信サービスに対する評価の調査に着手しました。これらの調査研究の発表は、会員社に向けて昨年11月に第5回発表会を開催し、昨年4月に「多チャンネル放送の実情と課題、未来展望」と題した当協会外部に向けた発表会を「サテマガ・ビー・アイ/SSK共催セミナー」として開催しました。

③ オリジナル番組アワードの継続実施及びプロモーションの強化

有料・多チャンネル放送のオリジナル番組制作促進と認知度向上を目指した第3回オリジナル番組アワードを継続して実施しました。昨年7月に開催した受賞式の時期に本アワードの認知度を向上させる活動に積極的に取り組みました。同時に、受賞作品、ノミネート作品等の告知を広く図り、今まで以上に番組・編成の認知度をあげ、有料・多チャンネル放送のプレゼンスを向上しました。

④ 放送環境変化への対応

総務省との定例会合である一水会に加え、4K/8K、スマートテレビを含めた放送技

術サービスの高度化に関する情報を協会内で共有し、次世代放送サービスにおける有料・多チャンネル放送の新たな可能性を探りました。また、著作権侵害の対策として、違法アップロード対策連絡会を立ち上げ、会員社への啓蒙と今後の対策について協議を開始しました。

著作権権利団体との交渉は、会員社の意見を取り纏め平成25年度の契約について協定を締結しました。

⑤ 社会貢献活動の継続実施

平成18年度より継続して実施している社会貢献活動は、平成25年度より新テーマとして「3R(Reduce・Reuse・Recycle)の推進(地球の未来のために今できること)」を取り上げました。幼児からシニアまで幅広い世代の男女が自ら関わることのできる社会貢献として共感性の高い「エコ」をテーマとしました。また、B-CASカードによる不正視聴防止については、警視庁からの広報啓発活動強化の依頼もあり、一般国民が犯罪に巻き込まれないよう事前に啓発することを目的とした新しいCMを制作して会員社のチャンネルで展開しました。(平成26年度も継続予定)

⑥ 関連団体との協力関係の強化

昨年7月30～31日に一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、一般社団法人日本CATV技術協会と共催で「ケーブルコンベンション2013」を開催しました。一般社団法人デジタル放送推進協会とはBSデジタル放送の普及推進に向けた活動を実施しました。また、平成25年度から成人番組の倫理基準の維持と更なる向上を目的として成人番組倫理委員会と相互に会員となりました。

(2) 公益目的支出実施状況

一般社団法人移行の際に「公益目的支出事業」として認定された次の4つの継続事業を行った結果、移行時の「平成26年度完了見込」が計画通り完了する見込となります。詳しくは「公益目的支出計画実施報告書」を参照下さい。

継続事業1: 視聴者を対象とした啓発事業

「3R(Reduce・Reuse・Recycle)の推進(地球の未来のために今できること)」と「時間が戻せたら～不正視聴 それは犯罪。」の2つのTVスポットを正会員社のチャンネルを通じ放送して「エコ」と「不正視聴の防止」を呼び掛けました。

継続事業2: 業界の調査研究と結果の公表

「多チャンネル放送実態調査2014」、「多チャンネル放送市場・事業者予測調査(第12回、第13回)」、「多チャンネル放送視聴者調査」を継続すると共にその結果を会員社や対外的に発表しました。

継続事業3: 業界の広告に関する調査研究と結果の公表

ターゲットメディアとしての特性を広告事例で紹介し、機械式ペイテレビ接触率調査結果に基づいた分析を加え、報告書を継続発行しました。

継続事業4: 個人情報保護認定団体SARCの個人情報保護センターへの運営参画

賛助会員として一般財団法人放送セキュリティセンターに入会し、衛星放送事業者の契約者に対する中立性・公平性を確保した苦情及び相談窓口対応業務を「認定個人情報保護団体」である放送セキュリティセンター(SARC)に委託しました。

(3) 定例会議

① 社員総会

第2回社員総会(平成25年6月24日)

- ・平成24年度決算承認の件及び平成24年度事業報告(承認)
- ・役員選任(理事・監事)の件(承認)
- ・記者会見(第3回オリジナル番組アワード授賞式・社会貢献キャンペーン)
- ・懇親会

② 理事会

第7回理事会(平成25年6月5日)

- ・平成24年度事業報告案及び平成24年度決算承認の件の件(承認)
- ・新規入会の件(株東京ニュース通信/三井物産株)(承認)
- ・役員候補選任(理事・監事)の件(承認)
- ・第1回定時社員総会議題の件(承認)
- ・第3回衛星放送協会オリジナル番組アワードの進捗状況(報告)
- ・社会貢献キャンペーンの進捗状況(報告)
- ・第2回定時社員総会議題の件(承認)
- ・日本音楽著作権協会との平成25年度合意内容の件(承認)
- ・衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員選任の件(承認)

第8回理事会(平成25年6月24日)

- ・役員候補の件(報告)
- ・委員長選任の件(承認)

第9回理事会(平成25年7月24日)

- ・新規入会の件(ダイコク電機株)(承認)
- ・アワード委員長並びにCAB-J会長代行承認の件(承認)
- ・ケーブルコンベンション2013報告(報告)
- ・第3回オリジナル番組アワードについて(報告)

第10回理事会(平成25年10月23日)

- ・規程類の改訂の件(承認)
- ・平成25年度上期協会活動(報告)
- ・平成25年度各委員会・附属機関活動状況(報告)
- ・平成25年度予算執行状況と見込(報告)
- ・不正視聴防止キャンペーン(報告)
- ・MPEG-2放送終了に向けた移行施策スケジュール(報告)
- ・環境自主行動計画(低炭素社会実行計画)の提出(報告)
- ・TPP交渉参加に関する意見書提出(報告)
- ・多チャンネル放送研究所第5回発表会(報告)

第11回理事会(平成26年1月29日)

- ・(一社)次世代放送推進フォーラムへの入社の件(承認)
- ・就業規則等の改訂の件(承認)
- ・平成26年度事業計画と予算の進め方(報告)
- ・第4回オリジナル番組アワード(報告)
- ・ケーブルコンベンション2014(報告)
- ・年頭記者会見/賀詞交歓会(報告)
- ・不正視聴防止キャンペーンCM(報告)
- ・会長推薦委員会の設置(報告)

第12回理事会(平成26年3月26日)

- ・平成26年度事業計画(案)及び予算(案)承認の件(承認)
- ・平成25年度商業用レコードの放送二次使用契約の件(承認)
- ・新規入会の件(正会員:㈱ヒストリーチャンネル・ジャパン、賛助会員:サテマガ・ビー・アイ㈱、(一社)放送セキュリティセンター)(承認)
- ・協会全体活動状況(報告)
- ・各委員会/附属機関活動状況(報告)
- ・会長推薦委員会(報告)
- ・室理事ご退任(報告)

③一水会

(総務省 衛星・地域放送課と協会による原則偶数月開催の定例会議:協会側の説明は、理事会で報告されているので省略し、行政よりの説明事項のみ記載)

4月度 一水会 (平成25年4月3日)

- ・スーパーハイビジョンに関する検討状況
- ・110度CS放送事業者へのヒアリング実施

6月度 一水会 (平成25年6月5日)

- ・放送サービスの高度化に関する検討会とりまとめ(4K/8K、スマートテレビ)

7月度 一水会 (平成25年7月9日)

- ・放送サービスの高度化に関する検討会のとりまとめ(昨年5月31日)の内容の政府の施策への反映状況
- ・110度CSの再編

10月度 一水会 (平成25年10月2日)

- ・平成26年度4K/8K関連予算要求
- ・平成24年度の民間放送事業者の収支状況
- ・次世代放送推進フォーラムの取組み状況

12月度 一水会 (平成25年12月4日)

- ・平成25年度補正予算等の動向
- ・次世代放送推進フォーラムの取組み状況
- ・110度CSの帯域整理

3月度 一水会 (平成26年3月7日)

- ・4K/8Kロードマップに関するフォローアップ
- ・リモート視聴

④2者懇談会((一社)日本ケーブルテレビ連盟と協会との定例会議)

第68回 (平成25年5月14日)

- ・多チャンネル加入者数の拡大(報告)

第69回 (平成25年9月19日)

- ・連盟会員の会員資格の取り扱い(報告)
- ・ケーブルコンベンション2013(報告)
- ・多チャンネル放送の現状と課題2012(報告)

第70回 (平成25年12月4日)

- ・著作権処理に関する未許諾事業者の取り扱い(報告)
- ・自主放送における「第2ネットワークID」の取り扱い(報告)
- ・世帯数情報と多チャンネルマーケット拡大への取組み(報告)
- ・不正視聴防止キャンペーン(報告)

(4) 委員会活動

委員会活動の概要と、委員会の議事項目、活動項目とセミナー/説明会を記載する。

①総務グループ

◆総務委員会

諸規程を改訂し、協会全般の運営を補佐した。更に公益目的支出計画について移行時の申請通りとなるように各委員会等に働き掛けた。3月には第7回人材育成セミナーを開催した。また、昨年7月1日に事務所を赤坂へ円滑に移転させた。

4月度(平成25年4月5日)

事務所移転先レイアウト/定時社員総会・懇親会/賛助会員入会

5月度(平成25年5月9日)

事務局節電活動/昨年6月5日理事会・昨年6月24日定時社員総会/事務所移転

6月度(平成25年6月7日)

第2回定時社員総会/会費の在り方

7月度(平成25年7月5日)

今後の活動

9月度(平成25年9月13日)

細則、規定、規則の改定/今後の実績見込/低炭素社会実行計画/懇親ゴルフ会

10月度(平成25年10月11日)

会費制度/就業規則改定

11月度(平成25年11月6日)

就業規則の改定/会費制度の在り方/人材育成セミナー

12月度(平成25年12月6日)

人材育成セミナー/就業規則の改定/来期予算

1月度(平成26年1月14日)

人材育成セミナー/平成26年度予算案

3月度(平成26年3月7日)

人材育成セミナー結果報告/来期予算、事業計画

■第7回人材育成セミナーの開催

| | |
|------|--|
| テーマ | ネット時代におけるメディア展望 |
| 日時 | 平成26年3月20日(木) 15:00~20:00 |
| 場所 | 明治記念館(元赤坂) |
| 講師 | ジャーナリスト 亀松 太郎 氏 アマゾンジャパン(株) 安川 武 氏 スカパーJSAT(株) 小牧 次郎 氏 |
| 参加人数 | 25社53名 |

■第14回衛星放送協会懇親ゴルフ会の開催(平成25年11月9日)

◆広報委員会

業界認知向上に向け、記者会見を昨年6月と1月に計2回開き、B-maga等に定期的に衛星放送協会の紹介記事を掲載した。社会貢献活動は「3R(Reduce・Reuse・Recycle)の推進(地球の未来のために今できること)」をテーマに継続して展開した。さらに、近年の有料・多チャンネル放送の不正視聴を鑑み、昨年12月に「不正視聴防止キャンペーン」スポットを急遽製作し展開した。昨年11月には第6回業界若手交流会を開催した。

- 4月度**(平成25年4月2日)
社会貢献キャンペーン/B-maga誌面展開
- 5月度**(平成25年5月14日)
社会貢献キャンペーン/社員総会・記者会見/B-maga誌面展開
- 6月度**(平成25年6月19日)
2社会貢献キャンペーン/6月24日記者会見
- 8月度**(平成25年8月8日)
業界若手交流会/不正視聴キャンペーン強化
- 9月度**(平成25年9月4日)
第7回業界若手交流会/不正視聴防止キャンペーン/B-maga/社会貢献キャンペーン
- 10月度**(平成25年10月15日)
業界若手交流会/B-maga掲載/ /不正視聴防止キャンペーン
- 11月度**(平成25年11月20日)
年頭記者会見/不正視聴防止キャンペーン/ B-maga
- 12月度**(平成25年12月18日)
年頭記者発表、賀詞交換会/不正防止キャンペーン
- 1月度**(平成26年1月15日)
年頭記者会見・賀詞交換会の件/B-maga掲載/社会貢献キャンペーン
- 2月度**(平成26年2月19日)
社会貢献活動キャンペーン/B-maga掲載来期スケジュール
- 3月度**(平成26年3月19日)
社会貢献活動キャンペーン//B-maga/オリジナル番組アワード

■第6回業界若手交流会の実施

| | |
|------|----------------------------|
| 日時 | 平成25年11月12日(火) 19:00~21:00 |
| 場所 | XEX日本橋(日本橋室町) |
| 参加人数 | 37社172名 |

◆技術委員会

会員社に共通する放送技術課題について調査研究を行った。総務省より提示されている衛星一般放送及び衛星基幹放送等の申請の手引きの改定を行った。

- 4月度**(平成25年4月3日)
110度CSに関する画質評価対応/技術基準等に係る申請手引き見直し
- 5月度**(平成25年5月8日)
技術基準等に係る申請手引き見直し/700MHz利用推進協会案内
- 6月度**(平成25年6月5日)
スカパー不正視聴/放送サービスの高度化に関する検討会/技術基準等に係る申請手引き見直し
- 7月度**(平成25年7月3日)
技術基準等に係る申請手引き見直し/ラウドネス対応
- 8月度**(平成25年8月7日)
技術基準等に係る申請手引き見直し
- 9月度**(平成25年9月4日)
技術基準等に係る申請手引き見直し
- 10月度**(平成25年10月2日)
CM素材ファイル化の現状/技術基準等に係る申請手引き見直し
- 11月度**(平成25年11月6日)

技術基準等に係る申請手引き見直し

12月度(平成25年12月5日)

技術基準等に係る申請手引き見直し

1月度(平成26年1月8日)

技術委員会活動計画

2月度(平成26年2月5日)

技術委員会活動計画/違法アップロード対策

3月度(平成26年3月5日)

技術基準等に係る申請の手引書の改定/リモート視聴

◆アワード委員会

有料・多チャンネル放送のオリジナル番組制作促進と認知向上を目指して創設したオリジナル番組アワードの第3回を実施運営した。第3回は昨年4月より第1次審査を開始し、6月に最終審査を終え、7月に授賞式を実施した。番組や編成企画の応募数は、オリジナル番組部門85番組、編成企画部門20企画の応募数であった。第4回オリジナル番組アワードは昨年8月より準備を始め、3月20日より受付を開始した。

4月度(平成25年4月10日)

オリジナル番組アワード授賞式の構成と予算/同PRプラン

5月度(平成25年5月14日)

一次審査会結果/最終審査会スケジュール/授賞式構成/ケーブルコンベンションセミナー

6月度(平成25年6月12日)

オリジナル番組アワード授賞式進捗/ケーブルコンベンションセミナー

7月度(平成25年7月10日)

オリジナル番組アワード授賞式最終/ケーブルコンベンションセミナー最終

8月度(平成25年7月23日)

オリジナル番組アワード授賞式結果/ケーブルコンベンションセミナー結果

9月度(平成25年9月11日)

授賞式、パブリシティ報告/次回のアワードに向けて

10月度(平成25年10月9日)

第4回オリジナル番組アワード/予算措置

11月度(平成25年11月13日)

第4回オリジナル番組アワード/予算措置

12月度(平成25年12月10日)

第4回オリジナル番組アワード/審査委員

1月度(平成26年1月15日)

第4回オリジナル番組アワード/記者会見/募集要項/説明会

2月度(平成26年2月12日)

第4回オリジナル番組アワード/スケジュール/授賞式/最終審査委員/広報活動

3月度(平成26年3月13日)

第4回オリジナル番組アワード/一次審査員応募状況/最終審査委員/学生へのアプローチ

■第3回衛星放送協会オリジナル番組アワードの受賞作品

オリジナル番組賞 最優秀番組

| 部門 | 番組名 | チャンネル | 会員社名 |
|------------|------------------------|--------------------|-------------|
| ドラマ番組 | 鬼平外伝 正月四日の客 | 時代劇専門チャンネル | 日本映画衛星放送(株) |
| ドキュメンタリー番組 | 犬と命の物語 ～どうぶつと生きる社会～ | BSスカパー！/ スカチャン5 | スカパーJSAT(株) |

| | | | |
|---------|---|-----------------|--------------------------------|
| 中継番組 | 三谷幸喜「ホロヴィッツとの対話」 渡辺謙×段田安則×和久井映 見×高泉淳子 | WOWOWライブ | (株)WOWOW |
| バラエティ番組 | AKBネ申テレビスペシャル ～ブロードウェイへの道～ | ファミリー劇場 | (株)ファミリー劇場 |
| 情報教養番組 | 戦いの城2 徹底解剖！城の攻め方・守り方 | ヒストリーチャンネル | (株)スーパーネットワーク |
| ミニ番組 | 奇跡の逸品 ～映画で見つけた宝物～ #13 ベスパ | スター・チャンネル1 | (株)スター・チャンネル |
| アニメ番組 | キングダム | NHK BS プレミアム | 日本放送協会 |
| 企画賞 | カウンターのおふたり | Twelve | ワールド・ハイビジ ョン・チャンネル(株) |
| 企画賞 | ドラマWスペシャル 尋ね人 | WOWOW プライム | (株)WOWOW |
| 企画賞 | 機動戦士ガンダムUC FILM&LIVE2012 hand in hand | アニマックス | (株)アニマックスブ ロードキャスト・ ジャパン |

オリジナル編成企画賞 最優秀編成企画

| 部 門 | 編成企画名 | チャンネル | 会員社名 |
|------|-------------------------------------|---------------------|-----------------------|
| 編成企画 | 第1回ヒストリーアワード ～地方の歴史から日本を紐解く ～ | ヒストリーチャンネル | (株)スーパーネットワーク |
| 奨励賞 | 『あなたがヒロイン！アワード』 | 女性チャンネル♪ LaLa TV | ジュピターエンタテイン メント(株) |
| 特別賞 | WOWOW×TBSコラボレーシ ョン企画「ダブルフェイス」 | WOWOW プライム | TBS/WOWOW |

最終審査委員（敬称略）

| | | |
|----------------|--------|---------------|
| 審査委員長 | 吉岡 忍 | ノンフィクション作家 |
| オリジナル番組賞 | 石井 彰 | 放送作家 |
| | 片山 一弘 | 読売新聞社 |
| | 音 好宏 | 上智大学 教授 |
| | 鴨下 信一 | 演出家 |
| | 小宮山 悟 | 野球評論家 |
| | 田中 早苗 | 弁護士 |
| オリジナル編成企 画賞 | 川上 真澄 | スカパーJSAT |
| | 寺嶋 貴樹 | ひかりTV(アイキャスト) |
| | 中野 真理子 | ジュピターテレコム |
| | 江戸川 夏樹 | 朝日新聞社 |
| | 宮崎 美紀子 | 東京新聞社 |

②コンプライアンスグループ

◆著作権委員会

著作権に関わる各団体と継続した交渉を実施した。新たに違法アップロード対策連絡会の勉強会を開催した。

4月度(平成25年4月26日)

JASRACとの交渉/不正コピー防止キャンペーン CM 使用期限延長/記録保存所

5月度(平成25年5月31日)

JASRACとの交渉/CCD総会報告

7月度(平成25年7月9日)

レコ協・CPRAとの協定交渉/JASRACからの申入書/風雲LIVE

8月度(平成25年8月9日)

レコ協・CPRAとの放送二次使用料に関する協定交渉/違法アップロード対策連絡会報告/権利問題研究会、著作権ビジネス研究会、合同研究会報告/CCD-ID実験

9月度(平成25年9月6日)

レコ協・CPRAとの平成25年度放送二次使用料に関する協定交渉/違法アップロード対策連絡会報告/TPP交渉に関する説明会の開催

9月度②(平成25年9月27日)

レコ協・CPRAとの平成25年度放送二次使用料に関する協定交渉/違法アップロード対策連絡会報告/デジタル時代の著作権協議会/TPP交渉に関する説明会の開催/著作権セミナー

10月度(平成25年10月25日)

レコ協・CPRAとの平成25年度放送二次使用料に関する協定交渉/TPP交渉に関する説明会報告/デジタル時代の著作権協議会平成25年度第1回権利問題研究会報告/中国における違法視聴サービスに関する報告/違法アップロード対策連絡会報告

11月度(平成25年11月29日)

JASRACと包括契約問題/レコ協・CPRAとの平成25年度放送二次使用料に関する協定交渉/日本俳優連合会からの氏名表示に関する依頼/記録保存所/TPP交渉に関する説明会の開催/著作権セミナー

12月度(平成25年12月17日)

レコ協・CPRAとの平成25年度放送二次使用料に関する協定交渉/記録保存所/TPP交渉に関する説明会報告

1月度(平成26年1月31日)

JASRACとの交渉/レコ協・CPRAとの交渉

2月度(平成26年2月28日)

レコ協・CPRAとの交渉/JASRACとの交渉/著作権隣接権

3月度(平成26年3月28日)

平成24年度の商業用レコード使用に関する協定/JASRACとの交渉について/デジタル時代の著作権協議会(CCD)権利問題研究会報告/記録保存所

■著作権セミナー:違法アップロード対策に関する勉強会開催

| | |
|-----|---|
| テーマ | 講演1:「コンテンツ業界における著作権侵害に対する取り組み」 講演2:「公的機関における著作権侵害に対する取り組み」 講演3:「監視・削除申請代行サービスの紹介」 |
| 日時 | 平成26年2月14日(金) 14:30~17:00 |
| 場所 | 明治記念館(元赤坂) |
| 講師 | 高良 仁久氏(ソニー・ミュージックエンタテインメント 知的財産戦略グループサイバーアクションチームチーフプロデューサー) |

| | |
|------|---|
| | 鷺見 和男氏(同次長) 永野 行雄氏(一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構 常務理事事務局長) 小田 志門氏(イー・ガーディアン(株) 取締役) |
| 参加人数 | 43社77名 |

◆倫理委員会

番組制作並びに放送の倫理向上に関する活動を実施した。昨年10月に第12回、2月には第13回の倫理委員会/CAB-J共催セミナーを開催した。3月には青少年健全育成活動の一環として小学生の親子を対象としたスタジオ見学会を実施した。

4月度(平成25年4月2日)

青少年健全育成活動/成人番組倫理委員会

5月度(平成25年5月7日)

青少年健全育成活動/倫理委員会・CAB-J共催セミナー/成人番組倫理委員会

6月度(平成25年6月4日)

成人番組倫理委員会/青少年健全育成活動/倫理委員会・CAB-J共催セミナー

7月度(平成25年7月2日)

青少年健全育成活動/倫理委員会・CAB-J共催セミナー/成人番組倫理委員会

8月度(平成25年8月6日)

青少年健全育成活動/倫理委員会・CAB-J共催セミナー/成人番組倫理委員会

9月度(平成25年9月3日)

倫理委員会・CAB-J共催セミナー/青少年健全育成活動/広告放送のガイドライン改訂

10月度(平成25年10月1日)

倫理委員会・CAB-J共催セミナー/青少年健全育成活動/広告放送のガイドライン改訂

11月度(平成25年11月5日)

青少年健全育成活動/倫理委員会・CAB-J共催セミナー/成人番組倫理委員会/広告放送のガイドライン改訂/放送基準の改訂/特定商取引法クーリングオフ

12月度(平成25年12月3日)

青少年健全育成活動/倫理委員会・CAB-J共催セミナー/広告放送のガイドライン改訂/BPOの事例研究

1月度(平成26年1月7日)

青少年健全育成活動/倫理委員会・CAB-J共催セミナー/広告放送のガイドライン改訂/成人番組倫理委員会

2月度(平成26年2月4日)

倫理委員会・CAB-J共催セミナー/青少年健全育成活動/広告放送のガイドライン改訂/成人番組倫理委員会

3月度(平成26年3月4日)

倫理委員会・CAB-J共催セミナー/青少年健全育成活動/成人番組倫理委員会/内閣府「子ども・若者白書」に係る記述

■第14回倫理委員会/CAB-Jセミナーの実施

| | |
|------|---------------------------------|
| テーマ | 青少年とテレビ～新時代の制作者たちへ～ |
| 日時 | 平成25年10月17日(木) 14:00～15:30 |
| 場所 | NHK青山荘(表参道) |
| 講師 | BPO放送倫理・番組向上機構「青少年委員会」委員 小田桐 誠氏 |
| 参加人数 | 23社40名 |

■第15回倫理委員会/CAB-Jセミナーの実施

| | |
|------|---------------------------------|
| テーマ | 平成25年度上半期のJAROの審査概況と見解事例 |
| 日時 | 平成26年2月6日(木) 14:30~15:30 |
| 場所 | 衛星放送協会 会議室 |
| 講師 | 公益社団法人日本広告審査機構(JARO) 専務理事 勝 俊明氏 |
| 参加人数 | 27社49名 |

■青少年育成活動の推進:春休み、テレビ番組の制作現場見学会の実施

| | |
|-----|--|
| 内容 | 青少年健全育成活動の推進を目的として、小中学生を対象に番組制作の現場を見学してもらう |
| 日時 | 平成26年3月26日(水) 13:00~15:30 |
| 会場 | 囲碁・将棋チャンネルスタジオ、日本棋院東京本院(市ヶ谷) |
| 参加者 | 抽選で選ばれた小学生の親子5組10名 |

◆災害対策委員会

災害に関する対応及び対策の情報収集・調査を実施した。女性テーマとした災害対策セミナーを実施した。

5月度(平成25年5月10日)

平成25年度予算と活動計画/防災対策情報の共有

7月度(平成25年7月5日)

女性のための防災対策セミナー/災害関連の展示会視察/災害伝言システム

9月度(平成25年9月12日)

東京国際消防防火展/危機管理産業展の視察/女性のための防災対策セミナー

10月度(平成25年10月3日)

東京国際消防防火展/危機管理産業展の視察/女性のための防災対策セミナー

11月度(平成25年11月6日)

東京国際消防防火展/危機管理産業展の視察報告/災害対策セミナー開催

1月度(平成26年1月16日)

災害対策セミナー/首都圏直下型地震の被害想定

■災害対策セミナーの実施

| | |
|------|--------------------------------------|
| テーマ | 新しい知見で地震災害から職場と社員の命を守る ~女性への配慮を忘れない~ |
| 日時 | 平成26年1月16日(木) 14:00~15:30 |
| 場所 | NHK青山荘(表参道) |
| 講師 | 国崎 信江氏(危機管理アドバイザー 危機管理教育研究所代表) |
| 参加人数 | 28社56名 |

③業務グループ

◆124/128度委員会

スカパーJSAT株式会社と情報を共有し、「スカパー！プレミアム」サービスの契約数拡大と、H.264への円滑な移行促進を目指す活動を実施した。

4月度(平成25年4月24日)

MPEG-2からH.264移行の状況/直近の移行状況及び終了に向けた対応/自動移行

5月度(平成25年5月22日)

MPEG-2からH.264移行の状況/アニメシアターX MPEG-2放送終了後に状況/JASRACとの交渉

6月度(平成25年6月20日)

オペティキャストの移行状況及び今後の取り組み/プレミアムサービスの今後の計画/MPEG-2からH.264移行の状況/自動移行

7月度(平成25年7月25日)

MPEG-2からH.264移行の状況/放送内容告知テロップの進捗状況と今後/2週間お試し体験資料の一部送付中止/塩漬け商品の扱い/JASRAC

8月度(平成25年8月28日)

MPEG-2からH.264移行の状況/塩漬け商品の扱い/移行に伴う放送内容告知テロップ

9月度(平成25年9月25日)

放送内テロップ、移行スケジュール/Cルート施策/MPEG-2からH.264移行の状況/110度における新商品/JASRAC契約

10月度(平成25年10月30日)

MPEG-2からH.264移行の状況/レジャーチャンネル9月末MPEG-2放送終了に係る移行施策/塩漬け商品契約者及び自動移行対象者へのお知らせ/プレミアムサービス新規チャンネル受付

11月度(平成25年11月27日)

MPEG-2からH.264移行の状況/今後のクラブビット会員の対応/HD移行における共聴対応/Cルート施策/放送内容告知テロップの頻度/JASRAC契約

12月度(平成25年12月25日)

MPEG-2からH.264移行の状況/プレミアムサービス新規獲得施策/自動移行/2014年6月の衛星使用料

1月度(平成26年1月22日)

3月プロモーション展開及びプレミアムサービスに特化した展開/解約者調査/MPEG-2からH.264移行の状況/グリーンチャンネルのMPEG-2放送終了前後の状況/自動移行を含む今後の移行施策スケジュール/スカパー・ブロードキャスティング収入に掛かるJASRAC費用負担

2月度(平成26年2月26日)

プレミアムサービス新規加入施策/MPEG-2⇒H.264移行の状況/MPEG-2放送終了に向けての告知

3月度(平成26年3月25日)

プレミアムサービス新規加入施策/MPEG-2⇒H.264移行の状況/MPEG-2放送終了に向けての告知

◆110度委員会

スカパーJSAT株式会社と情報を共有し、「スカパー！」(旧e2)経由の契約数拡大及び更なる普及促進を目指す活動を実施した。

4月度(平成25年4月22日)

フレッツテレビ加入状況/オプティキャスト者の取組

5月度(平成25年5月27日)

MPEG-2放送終了に伴うCATV対応/フレッツテレビ加入状況

6月度(7月4日)

解約データ/110度衛星契約約款/パススルー進捗/フレッツテレビ加入状況

7月度(平成25年7月29日)

110度衛星契約約款/パススルー進捗/フレッツテレビ加入状況/

8月度(平成25年8月21日)

各WGの取り組み/パススルー進捗

9月度(平成25年9月30日)

Cルートからの加入促進/新商品/解約防止/パススルー/110度衛星契約約款/フレッツテレビ加入状況

10月度(平成25年10月21日)

110度衛星契約約款/パススルー進捗状況/フレッツテレビ加入状況/解約防止策/新商品

11月度(平成25年11月25日)

販促対策/Cルートからの加入促進/110度衛星契約約款/フレッツテレビ加入状況

12月度(平成25年12月19日)

早期解約者ヒアリング調査結果/3月期の加入獲得プラン/110度衛星契約約款

1月度(平成26年1月27日)

解約状況防止施策の状況/販促施策/110度衛星契約約款/パススルー関連

2月度(平成26年2月24日)

2月加入見込および1月の解約状況/販促施策/110度衛星契約約款/パススルー関連

3月度(平成26年3月24日)

加入状況近況報告等/解約防止報告/パススルー関連/衛星契約関連

◆**ケーブル委員会**

ケーブルテレビおよびIPTV事業者と適正で良好な関係を構築するため課題を整理し、ケーブルテレビ/IPTV経由の有料・多チャンネル放送契約数の拡大を目指す活動を実施した。

6月度(平成25年6月17日)

データ整備/再送信有料化/料金滞納/チャンネル番号統一/ケーブルコンベンション2013/違法配信/スカパーMPEG2終了

9月度(平成25年9月9日)

スカパーMPEG2移行施策状況報告/メディア中国/気仙沼ケーブル課金免除/琉球マルチメディアの多チャンネル終了/富山県ケーブルテレビ協議会/次世代IPリニア伝送/

12月度(平成25年12月16日)

データ整備・事業対策/CATV向け番組情報発信ツール/次世代サービス/ケーブルコンベンション2014

3月度(平成26年3月17日)

世帯数報告統一フォーマット/データ整備/事業対策/気仙沼ケーブルネットワーク支払い免除/CATV向け番組情報発信ツール/プラットフォームとの取組/共通ARアプリ/AUショップでのチャンネル放送ケーブルコンベンション2014

注：ケーブル委員会は39名の大会所帯での活動を活性化させる為に4つのWGでそれぞれの活動を行い、39名の全体会を3ヶ月毎としている。一方、その間は委員長、副委員長、委員長補佐、各WGリーダーからなる運営委員会を開催して各WG間の情報共有を図っている

る。

■日本ケーブルラボ「ハイブリッドBOX」説明会

| | |
|------|--------------------------|
| テーマ | 「ハイブリッドBOX」説明会のご案内 |
| 日時 | 平成25年4月4日(木) 15:00~16:00 |
| 場所 | レストラン立山会議室(虎ノ門) |
| 講師 | 山口舜三氏(日本ケーブルラボ常務理事)他 |
| 参加人数 | 36社63名 |

■ケーブルコンベンション2013セミナーの実施

| | |
|------|---|
| テーマ | 「これからの多チャンネル放送に求められるオリジナル番組とは何か？」 |
| 日時 | 平成25年7月31日(水) 10:00~11:00 |
| 場所 | 東京国際フォーラム(有楽町) |
| 講師 | 音好宏氏(上智大学文学部新聞学科教授)、杉田成道氏(日本映画衛星放送社長)、丸山康熙氏(須高ケーブルテレビ社長)他 |
| 参加人数 | 54社84名 |

◆プレミア委員会

委員会内及び各プラットフォーム事業者との情報共有に重点を置き、さらなるプレミアチャンネルの普及促進を目指す活動を実施した。

4月度(平成25年4月12日)

プレミアムパックへの名称変更に伴う単チャンネルの販促方法/共同販促/情報共有

5月度(平成25年5月10日)

共同販促/情報共有

7月度(平成25年7月12日)

スーパーハイビジョンに関する検討結果/共同販促/情報共有

8月度(平成25年8月30日)

共同販促/情報共有

9月度(平成25年9月26日)

110度新商品/プラスプレミアムキャンペーン/共同販促/情報共有

10月度(平成25年10月24日)

共同販促/情報共有

11月度(平成25年11月28日)

共同販促/情報共有

12月度(平成25年12月19日)

共同販促/情報共有

1月度(平成26年1月21日)

共同販促/情報共有

2月度(平成26年2月27日)

共同販促/情報共有

3月度(平成26年3月27日)

共同販促/情報共有

◆BS委員会

スカパーJSAT株式会社と情報を共有し、110度委員会とは特に情報交換を密にして、BSチャンネルの普及促進を目指す活動を実施した。

4月度(平成25年4月23日)

今後のBS独自の普及促進・加入拡大施策

5月度(平成25年5月28日)

今後の普及促進

6月度(平成25年7月2日)

今後の普及促進

7月度(平成25年7月30日)

BS10社会との認識共有/今後の普及促進

8月度(平成25年8月27日)

Cルート施策/新商品の概要/BSお試し視聴キャンペーン

9月度(平成25年9月24日)

有料BS共同キャンペーン/予算

10月度(平成25年10月29日)

有料BS共同キャンペーン/浸透度調査

11月度(平成25年11月26日)

11月30日「BSイチオシ作品祭り」/Cルート施策「プラス プレミアム キャンペーン」

12月度(平成25年12月24日)

11月30日「BSイチオシ作品祭り」/3月の加入獲得展開プランと過去経験層への再鍵開け/解約防止

1月度(平成26年1月28日)

パススルー導入物件/浸透度調査報告/11月30日「BSイチオシ作品祭り」

2月度(平成26年2月25日)

パススルー導入物件/有料BSの現状

3月度(平成26年3月25日)

解約防止/EPGに関するアンケート

(5) 多チャンネル放送研究所

多チャンネル放送の普及促進を阻害している要因を調査/分析を行った。

A: 研究報告書の公表

- ・平成25年7月 第12回多チャンネル放送市場・事業者予測調査報告書
- ・平成25年8月 多チャンネル放送の現状と課題2012～2012年多チャンネル放送実態調査より～
- ・平成25年10月 2013年多チャンネル放送実態調査 調査報告書
- ・平成26年1月 第13回多チャンネル放送市場・事業者予測調査報告書

B: 発表会・セミナー・シンポジウム

- ・平成25年4月 セミナー「多チャンネル放送の実情と課題、未来展望」(サテマガ・ビー・アイ/SSK共催セミナー)
- ・平成25年11月 多チャンネル放送研究所第5回発表会

C:ワークショップ

- 平成26年2月 総務省衛星・地域放送課長鈴木様・放送サービス高度化に向けた取組と今後の展開

■セミナー「多チャンネル放送の実情と課題、未来展望」(サテマガ・ビー・アイ/SSK共催セミナー)への参加

| | |
|------|--|
| テーマ | 多チャンネル放送の実情と課題、未来展望～スマートTV、4K/8K時代に実態調査と先進事例から次世代戦略を考える～ |
| 日時 | 平成25年4月8日(月) 14:00～17:00 |
| 場所 | SSK セミナールーム(新橋) |
| 講師 | 多チャンネル放送研究所 所長 兼 主任研究員 音 好宏 氏(上智大学 教授)他 |
| 参加人数 | 18社37名 |

■第5回発表会の実施

| | |
|------|---|
| テーマ | 新しい知見で地震災害から職場と社員の命を守る ～女性への配慮を忘れない～ |
| 日時 | 平成25年11月29日(金) 15:30～17:30 |
| 場所 | 明治記念館(元赤坂) |
| 講師 | 多チャンネル放送研究所 所長 兼 主任研究員 音 好宏 氏(上智大学 教授)他 |
| 参加人数 | 61社117名 |

(6) 衛星テレビ広告協議会(CAB-J)

平成25年の総広告費は、前年比101.4%、5兆9762億円と2年連続で前年実績越えとなった。

地上波テレビ広告を含む「マス4媒体」は、横ばいに近い結果となった。最も構成比の高い「テレビ広告」は、プラス成長の100.9%となったがそれ以外の「新聞広告」・「雑誌広告」・「ラジオ広告」は前年比割れで、「マス4媒体」はテレビ以外の低迷が再び現れた結果となった。

一方、衛星メディア関連広告は、メディア価値の定着もあり順調な成長を維持した。平成25年度のCS/BSペイテレビ広告売上は、前年比109.3%の219億7千万円となった。売上増の主な要因は、通販関連の好調に加え、冬季オリンピック、パラリンピックの開催や消費税増税の駆け込み需要などの大きなトピックスによる広告出稿があったためである。

平成25年度はCAB-Jが集計を始めて以来、最高の売上高となった。この成長を維持し続けるために、今後のCS/BSペイテレビ広告は、ターゲット広告として、積極的な施策を講じる必要がある。詳しくは、添付の「衛星テレビ広告協議会(CAB-J)平成25年度事業報告」を参照下さい。

(7) 記録保存所

衛星放送協会記録保存所は、平成24年7月1日に文化庁長官より公的記録保存所としての指定を受け、正会員が著作権法44条に則って制作した一時的固定物(放送番組)を、放送後6カ月を超えても保存している。記録保存所は衛星放送協会事務局を本所とし、希望する正会員に支所

を設置。実際には、35社(平成26年3月末日現在)の正会員支所がそれぞれ保存業務を行っている。平成25年4月には、本所が各支所の平成24年度保存状況を取り纏め、衛星放送協会記録保存所として第1回目となる報告書を文化庁に提出した。

以 上

事業報告の附属明細書

附属明細書については、特に記載すべき重要な事項はない。

【添付】

衛星テレビ広告協議会(CAB-J) 平成25年度事業報告(案)

1. 衛星テレビ広告業界の概要

平成25年の総広告費は、前年比101.4%、5兆9762億円と2年連続で前年実績越えとなった。「アベノミクス」効果による持続的な景気の回復傾向と消費税増税の駆け込み需要の影響が出始めた年末期を中心に全体としては好調に推移した。前半は株高に恩恵を受けた消費者による高額商品の売れ行きが顕著であり、日本経済の上向き基調を印象付けたが、広告費全体の押し上げ効果とまではいかなかった。しかしながら、後半も比較的安定した状況が継続し、通年では広告費増加という結果になった。

地上波テレビ広告を含む「マス4媒体」は、前年比100.1%と前年越えではあるが横ばいに近い結果となった。最も構成比の高い「テレビ広告」は、プラス成長の100.9%となった。それ以外の「新聞広告」・「雑誌広告」は98.8、98.0%と再び前年比を割り込むこととなった。また「ラジオ広告」も99.8%と前年を割っており、「マス4媒体」はテレビ以外の低迷が再び現れた結果となった。

衛星メディア関連広告は、メディア価値の定着もあり順調な成長を維持した。これは、地上波TV放送完全デジタル化による多チャンネル対応が、BSデジタル放送を中心に消費者に定着しつつあることによるもので、BSデジタル放送に対する広告主側のメディア認知が向上したことの結果である。BS広告は前年比113.8%という高い伸びを引き続き示している。

そのような状況のもと、平成25年度CS/BSペイテレビ広告売上は、前年比109.3%の219億7千万円となった。売上増の主な要因は、通販関連が好調であったことに加え、冬季オリンピック、パラリンピックの開催や消費税増税の駆け込み需要などの大きなトピックスによる広告出稿があったためである。

平成25年度はCAB-Jが集計を始めて以来、最高の売上高となった。この成長を維持し続けるために、今後のCS/BSペイテレビ広告は、ターゲット広告として、チャンネルごとのプロフィールや量的データ調査レベルアップを含むアカウントビリティの向上、視聴者や広告主へのチャンネル認知度および顧客満足度の向上に対し、積極的な施策を講じる必要がある。

これからCAB-Jはますます一丸となり、様々な課題に対処して行く所存である。

2. 衛星テレビ広告協議会の取り組み

(1) 総会・監査

平成25年4月25日(木) 衛星放送協会監事による監査実施

平成25年5月22日(火) 平成25年度定時総会開催

(2) 勉強会・セミナー実施

■放送業務整備WG/CM担当者連絡会議合同勉強会

実施日：平成25年9月5日(木)

会場:衛星放送協会会議室

講師:外山氏(博報堂DYメディアパートナーズ)、須佐氏(博報堂DYメディアパートナーズ)、中島氏(博報堂DYメディアパートナーズ)、岩崎氏(電通)、野村氏(アサツー ディ・ケイ)、田口氏(一般社団法人日本広告業協会)

講演内容:「CM素材ファイル化の現状～広告会社の視点から～」

出席者数:40名

■CAB-JセミナーIN福岡 2013

実施日:平成25年11月21日(木)

会場:西鉄グランドホテル

出席者数:140名

CAB-JではCS/BSペイテレビ広告の普及を目的にこれまで東京と大阪でセミナーを開催してきたが、福岡でのセミナーは初めての開催。

セミナーでは、福岡で初開催ということから、CS/BSペイテレビの概要や視聴方法、CAB-Jの概要、機械式ペイテレビ接触率調査の手法といったベースとなる部分を丁寧に説明し、参加者の理解促進に努めた。合わせて、東京・大阪同様に、CS/BSペイテレビを使った最新の広告事例を実際の映像で紹介したほか、CS/BSペイテレビ広告の特性のプレゼンを行なった。なお、広告事例紹介では、大阪発の全国展開CM事例として、平成23年に展開されたグランフロント大阪の事例も紹介し、活用をイメージしやすいプレゼンを行なった。

(3)正会員・賛助会員に対する勉強会実施

実施日:平成25年8月28日(水)

会場:TBS会議室

講演-1

講演内容:「機械式ペイテレビ接触率調査データについて
～全チャンネル開示実験とデータ活用事例～」

講師:(株)ビデオリサーチ テレビ調査局 衛星メディア調査部 重光 ゆみ氏

講演-2

講演内容:「有料多チャンネルビジネス再考」

講師:(株)電通 ラジオテレビ&エンタテインメント局
ペイTV事業部長 出田 稔氏

講演-3

講演内容:「タレント広告について」

講師:(株)ADK エンタテインメント事業本部キャスティング局長 齋藤秀一氏

出席者数:190名

実施日:平成26年3月12日(水)

会場:TBS会議室

講演内容:「JAA会員に聞いてみました・・・ペイテレビと広告・・・」

講師:公益社団法人日本アドバタイザーズ協会(JAA)専務理事 藤川 達夫氏

出席者数:145名

(4)衛星放送協会倫理委員会／CAB－J総務・広報委員会共催セミナー開催

平成25年10月17日(木)、平成26年2月6日(木)、計2回開催
(詳細は総務・広報委員会報告参照)

(5)平成25年度CS／BSpayテレビ広告総売上集計実施

| | |
|--------|--------------------|
| 平成24年度 | 201億円 |
| 平成25年度 | 219.7億円(前年比109.3%) |

3. 委員会活動

(1)総務・広報委員会

①CAB－J公式ホームページの利便性向上の為の改訂実施

衛星テレビ広告という表記をCS/BSpayテレビ広告へ変更。
それに合せ、CAB-Jロゴも変更。
各局ニュース、各局DATA、CAB-Jとは、CS/BSpayテレビ広告についてなどの内容を更新

②ケーブルテレビ加入世帯数調査

平成25年6月末付、12月末付の総加入世帯数調査を実施した。

③広告考査関連活動

A:CM考査担当者連絡会議

平成25年度は合計11回の連絡会議を開催した。
会員各社のCM考査事例に関する情報交換や意見交換を行った他、「広告放送のガイドライン」の改定担当者を選定した。

B:衛星放送協会倫理委員会・CAB－J共催セミナー開催

平成25年度は2回開催し、いずれのセミナーも多数の参加があり好評であった。

第14回

開催日:平成25年10月17日(木)

講演内容:『青少年とテレビ～新時代の制作者たちへ～』

講師:小田桐 誠氏(BPO 放送と青少年に関する委員会員)

第15回

開催日:平成26年2月6日(木)

講演内容:『平成25年上期 JAROの審査概況と見解事例』

講師:勝 俊明氏(公益社団法人日本広告審査機構 専務理事)

C:CAB－J会員社に役立つ情報をJARO会報誌『広告に関する記事』より抜粋し、JAROレポートとして合計12回会員に配信した。

④CAB－J広告出稿活動

(2)営業推進委員会

①CAB-Jパーティ2013

広告会社及び広告主協会・広告業協会・JARO等関係団体を対象に、CAB-Jの活動報告とCSメディアの現状をより深く理解してもらうための媒体説明会、及び懇親パーティを東京ドームホテルにて平成25年10月3日(木)に実施。媒体説明会では、CS/BSペイテレビを活用し展開された広告事例の数々を映像で紹介。続いてメディアデータ委員長によるCS/BSペイテレビの接触状況をはじめとしたデータの発表を行った。第一部会場の350席は満席となり、第二部も併せると当日の総出席者は588名となった。

②CAB-JセミナーIN関西2013

広告会社を対象に、一昨年に引き続き関西地区でのCS/BSペイテレビ媒体説明会、及び懇親パーティを平成25年11月6日(水)に大阪リーガロイヤルホテルで実施。当日の総出席者は161名であった。

③CS広告事例紹介映像作成

CSの媒体特色を視覚的にアピールするために広告事例紹介映像を作成。CAB-Jパーティやセミナーなど媒体説明会場での使用、及び各局のセールスツールとして活用した。

④広告出稿調査

CS広告の現状把握を目的として、四半期ごとの正会員各社の出稿社、及び出稿内容の調査を実施。集計データ、出稿社一覧をとりまとめた。参考資料として正会員・賛助会員各社へ配布した。

⑤賛助会員社との意見交換

賛助会員社との連携を一層強化するため、小規模での賛助会員社との意見交換会を実施。今後のCAB-Jに期待する活動についてヒアリングを行った

⑥放送業務整備WG

CM素材の種類とその対応確認・CM素材搬入日時・CM送出業務、場所・10桁コード使用・ラウドネス対応・ACジャパン加入等、正会員社にアンケートを実施し、集計結果での問題点を確認した。

(3)メディアデータ委員会

①CAB-Jメディアデータブック2013制作

委員会内に編集委員会を組織し、CAB-Jセミナー前に10,000部印刷完了。編集作業と印刷業務をサテマガ・ビー・アイ㈱に委託して4年目となり、編集委員との連携も順調であった。

②各種セミナーの実施

A:CAB-Jセミナー2013でのメディアデータを用いた媒体説明
メディアデータブックの内容を基に東京(昨年10月3日)と大阪(昨年11月6日)、福岡(昨年11月21日)で計3回実施。

B: < 機械式ペイテレビ接触率調査 > データ活用事例研究会(昨年9月24日)
 テーマ:「有料テレビ放送事業者にとっての視聴データ」「視聴データを編成に活用する」
 「視聴データを使って広告営業資料を作成する」「広告会社が放送事業者に期待すること」

③機械式ペイテレビ接触率第四部ワーキンググループの運営

議長、委員を一部メディアデータ委員が兼務し、「利用者側の要望を取り入れ、より良いアウトプット仕様、調査設計を決め、ペイテレビの広告市場発展に資すること」を目的に同ワーキンググループ及び分科会、上位のメディアデータ委員会等を開催。

主要議題

- A: メディアデータブック記載データ
- B: CAB-Jセミナー媒体説明会内容
- C: 機械式ペイテレビ接触率付帯調査仕様
- D: ペイテレビ接触率導入広告会社への全調査チャンネル接触率開示実験の実施(平成25年4月より平成26年2月まで計6回)
- E: 上記実験と接触率利用実態等についてCAB-J会員者対象アンケート調査の企画・実施(平成26年3月)
- F: RVCSを使った情報発信等についての検討
- G: 今後の機械式ペイテレビ接触率のありかたについて、広告会社とビデオリサーチ、WG参加チャンネル各社で議論。

CAB-J正会員社・賛助会員社入退会状況

| | | |
|-------|------------|---|
| 正会員社 | 平成25年5月入会 | FOXインターナショナル・チャンネルズ(株) (FOXムービー プレミアム) |
| | 平成26年3月末退会 | 日本テレビ放送網(株)(日テレNEWS24) |
| 賛助会員社 | 平成25年10月入会 | (株)ビデオリサーチ |

CAB-J会員数(平成26年3月31日現在)

| 項目 | 社数 | チャンネル数 |
|------|-----|---------|
| 正会員 | 34社 | 67チャンネル |
| 賛助会員 | 18社 | - |

以上